

広報

分水嶺



キヌガサソウ

第 56 号

平成 28 年 7 月

岩手北部森林管理署
岩手県八幡平市荒屋新町 41-8

Tel 050-3160-5895

平成 28 年度 安全大会開催



基本動作 守る心と続ける努力 みんなで築こう無災害

平成 28 年度 国有林野事業安全週間スローガン

7月4日(月)、安全大会を荒屋コミュニティセンターで開催しました。鈴木署長から『安全に対する心がけについて』等の挨拶があり、交通安全講話では、岩手警察署安代駐在所の和久井巡査部長より、交通ルール及びマナーの遵守、防衛運転の励行等交通安全教育の講習を受けました。

最後に、職場を代表して兄畑森林事務所森林官の津島龍輝さんが安全宣言を行い無災害に対する決意を新たにしました。



鈴木署長挨拶



交通安全講話



安全宣言 津島 龍輝さん

岩手北部森林管理署 安全標語

◎最優秀賞(安全部門) …平舘 拓実さん

『さあ確認 今日の体調 作業手順 みんなで確認 続ける安全作業』

◎最優秀賞(健康部門) …佐藤 春花さん

『そのうちに そろそろ もう何年？ すぐ始めましょう 禁煙生活』

○優秀賞(安全部門)

『ちょっとまで その掴む かんぼく大丈夫？ 確認しようもう一度』…鈴木 勝之さん

『過信しない 危険は常にそばにある』…津島 龍輝さん

○優秀賞(健康部門)

『常日頃の体調チェックで 防ごう病気 守ろう健康を』…三浦 雄幸さん



八幡平地区高山植物盗採防止パトロール

6月21日(火)に岩手県、八幡平市、盛岡自然保護官事務所等と合同で八幡平地区高山植物盗採防止パトロールを行ってきました。当日は、くもりでしたが、多くの登山客が訪れていました。高山植物の盗採等は見られませんでした。ふきのとう等の山菜に一部盗採されたと思われる箇所がありました。今後も関係機関と連携をとりながら、高山植物の保護に努めていきます。



パトロール風景



アオモリトドマツ



ビンズイ

岩手山山開き

7月1日(金)に岩手山の山開き記念登山に参加しました。道中にはコマクサやハクサンチドリ等の高山植物や溶岩流跡など見所が多く、標高が上がるにつれて変わる景色を追っているうちに山頂に到着していた次第です。今年は天候に恵まれ、大部分の登山者が登頂に成功しました。



岩手山



コマクサ



山頂



今年から8月11日が「山の日」に定められ、国民の祝日が増えました。山の日って何？と思われる人も多いのではないのでしょうか。日本山岳会をはじめとする全国「山の日」協議会加盟諸団体や地方自治体、自然保護団体の意見を聞いて制定されたそうです。山の日が出来た由来ですが、『山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する』とのこと。普段山に縁がないという方。手始めに近場の山林散策や登山など楽しんでみてはいかがでしょうか。いろいろな発見があるかもしれませんよ。

蜂に注意!

防蜂網・防蜂手袋の着用を徹底



平成28年度 森林教室

八幡平市立安代小学校の5年生と八幡平市立田山小学校の5年生を対象とし、1年間の計画について事前に打ち合わせを行い、人々の生活や環境と森林との関係について学ぶ森林環境教育の推進に取り組んでいます。

また、年度途中で依頼があった学校についても署職員の協力の下、積極的に取り組んでいます。

八幡平市立安代小学校(5年生)

5月31日『森林学習オリエンテーション・学校周辺』



安代小学校にて、森のはたらきや環境について学習したあと、学校周辺の樹木や植物の観察をしました。



八幡平市立田山小学校(5年生)

5月12日『森林学習オリエンテーション』



田山小学校にて、森のはたらきや環境について学習しました。



5月18日『学校周辺の森林学習』



田山小学校周辺にて、樹木や植物の観察をしたり模型を使った治山ダムの実験学習を行いました。



八幡平市立安代・田山小学校(5年生)

6月9日『子ども樹木博士』



国立岩手山青少年交流の家にて樹木の名前と特徴の説明を受けたあと、試験に取り組みました。



半自然草原に咲く、草原性の植物

地域技術官(森林育成) 市原 良浩

当署管内には、ブナ二次林とシバ草原が広がる安比高原があり、多くの人々がその美しい景観を観察しに訪れています。このシバ草原は、放置すると森林化(植生遷移)してしまいがちですが、採草や放牧など人による活動によって植生遷移が妨げられることで保たれている伝統的自然景観で、半自然草原と呼ばれ、そこには秋の七草として有名でなじみのあるオミナエシ、キキョウのほか、草原に特有の植物が生息しています。

この草原。明治・大正時代には国土の約10%あったそうですが、1960年代の産業革命以降、その価値が失われて人の手が加えられなくなったことで、現在は1960年の約1/10まで減少しています。それに伴い、昔は身近にありふれていた草原性の植物も減少し、貴重な存在となっています。この状況は安比高原においても同様で、放置されることでシバ草原の藪化が進行し、景観が失われました。

当署では、かつての安比の景観を取り戻すため、平成18年度より八幡平市と「あっぱ高原遊々の森」協定を締結し、八幡平市、市民との協働により様々な取組を行っています。

今回は、そんな人々の営みによって咲く、安比高原の草原性植物を紹介します。



春 オキナグサ
環境省 絶滅危惧種Ⅱ類



春 フデリンドウ
草丈5cmほどの可憐な花



春-夏 アズマギク
シバ草原一面に咲く



夏 ヤナギラン
一面に群落をつくり鮮やかに咲く



夏-秋 ツリガネニンジン
つるされた鐘のような花



夏-秋 オミナエシ
秋の七草の1つ



夏-秋 サワギキョウ
湿った草原に咲く



秋 ウメバチソウ
「天満宮」の梅鉢紋に似た花



秋 エゾオヤマリンドウ
秋の安比を彩るリンドウ



一度は失われかけた安比高原の草原景観ですが、毎年の野焼き、馬の放牧など草原再生の取組によって、四季折々草原の花々が咲くかつての風景が戻りつつあります。当署では、引き続き市と地元市民とともに、より美しい安比高原の再生への取組を続けていきます。

また、今年より8月11日は国民の祝日「山の日」に制定されました。

この機会に、地域にある身近な自然にふれあい、森林の恵みを感じてみてはいかがでしょうか。